事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月24日（15：００　～16：００　）
１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	長富.野端・岡本・石橋・金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	12人	1人		16人

前回の改善計画

事前情報の把握や確認不足による統一した対応に支障がでることがあった為、ミーティングに参加できない職員に対しては会議録の確認を行った上で、職員が個々に知りえた情報を伝達し（フェースシートの更新）共有できるよう努めていく。
初期の段階で利用者・ご家族とのコミュニケーションを積極的に図って行くことで、個々のコミュニケーションスキルを上げ、信頼関係の構築に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

ミーテイングにほぼ全員参加している事で、事前情報の把握は、各自確認でき初期の支援の統一が実践でき　利用者だけでなくご家族等の環境にも配慮できるようになった事から、信頼関係の構築に取り組む姿勢も浸透してきた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	8人	7人			16人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3人	11人	2人		16人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	10人	6人			16人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3人	11人	2人		16人

できている点

ミーティングの参加率が良い事で、職員間の情報交換及び共有することができている。
担当制であることで、フェースシトを基に情報の集約・拡散が行いやすい。
利用者・ご家族の要望・情報を収集することで、マニュアルを作成し伝達を行っている。

できていない点

面会の少ないご家族との関係作りができていない。
ご家族の必要としている支援の把握が不十分である。
フェースシトの更新やマニュアルの周知徹底ができていない。

次回までの具体的な改善計画

ニーズが分かりづらいご家族には、担当職員が積極的に関わりを持ち現状と違った情報を収集し支援内容に反映していく。
フェースシートの変更・更新・マニュアルは各自、責任を持って徹底した確認を行い職員間が協力し活発に
コミュニケーションを取って行く事で意識付を行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月24日（15：００　～16：００　）
２．　「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	長富.野端・岡本・石橋・金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	10人	3人		16人

前回の改善計画

認知症について理解を深め、どこに重点・焦点・視点をおいてケアをするのか、「思い」を読み取る力を身につけ生活背景や状況分析ができるよう「ひもときシート」の活用を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

勉強会・自己研鑽・外部研修への積極的な参加により、認知症についての理解を深める事ができ、認知症への特性を理解した対応や個別支援に向けた環境整備が行えた事で、「ひもときシート」の対象者である利用者がいなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1人	13人	2人		16人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1人	12人	3人		16人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1人	12人	3人		16人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	7人	9人	1人		16人

できている点

毎月のカンファレンスを通して、利用者の情報やケアの方向性等の共有や柔軟な対応が行えている。
変化時は随時、カンファレンスで、意見交換を行い職員全員に伝達ノートを活用し周知している事で「～したい」の自己実現に向けてアプローチを明確化することができた。

できていない点

担当利用者以外になると目標の把握は出来ていないことがあり、ケアプランの確認も不十分で、モニタリングした内容が伝わらないことが多く見られた。

次回までの具体的な改善計画

ケアプラン・モニタリング等のファイルの確認する習慣ができる様、検討していく。
今後も支援方法について検討・修正・変更を重ね自己実現に向けての支援を継続的に提供していく。
「その人に応じたケア」パーソン・センタード・ケアの研修会を開催し認知症ケアの質の向上を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年１０月28日（15：３０　～１６：３０　）
３．　日常生活の支援	メンバー	沖田・田中　上野・金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5人	9人	2人		16人

前回の改善計画

職員間の主観や思いが深く介入しない様、ミーティングを通して情報・意見交換を行チームケアの実施の重要性を周知し、職員間の連携を強化していく。
職員全体の記録物の確保は概ねできているが、記録時間の確保や記録の検討を再度行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員間での意見交換が行いやすい雰囲気や機械が増えた事により、職員間のコミュニケーションが向上しケアの統一が図れた。記録の検討・変更を行っていったが、「誰が」記録するのかが、不明確な事や業務優先となり忘れることが多くあった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1人	5人	10人		16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	9人	7人			16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3人	11人	2人		16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	13人	2人	1人		16人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？	3人	12人	1人		16人

できている点

目標に対しての支援内容について、実践したこと等、日々のミーティングを通して意見交換をを重ね情報共有ができたことで、ケアの統一が図れた。

できていない点

利用者の担当職員が変更した場合に情報が少ないことがあり、状態変化時に共有した情報等を記録に残すことができていないことがあった。

次回までの具体的な改善計画

キャリア段位制度による実践的スキルの評価を行い介護技術や利用者視点でのケアの統一を図る。
エビデンス（根拠）を基に客観的記載になるような記録の書き方の勉強会を行いスキルアップを図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年１0月28日（15：3０　～１6：3０　）
４．　地域での暮らしの支援	メンバー	沖田・田中　上野・金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2人	10人	4人		16人

前回の改善計画
個々の利用者にとっての地域資源や社会資源の必要性を職員が把握・理解できる様、事業所として、今後も地域活動の参加の機会を人員の調整が可能な限り増やせる様努めて行くことで、民生員や地域で活躍されている方との関わりの機会も増やせる様努めて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者がニーズを充足したり、問題解決する為に活用している制度の把握ができていない職員もいた。 地域活動の定期的な関わりや交流を増やせることは出来たが、人員の調整も厳しく全職員の参加には至っていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	3人	11人	2人		16人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3人	11人	1人	1人	16人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	3人	10人	3人		16人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	3人	8人	4人	1人	16人

できている点
運営推進会議で、ご家族や地域の方々との意見交換又内部行事等にて、地域の方々やご家族との交流に努めた。 地域の社会資源の活用もできている。

できていない点
地域活動への外部での参加は利用者全員は出来ていない。 必要な民生委員の把握・地域で、活躍されているかたとの関わりは運営推進会議が主であり、他の関わりが少ない。 利用者とご家族の関係性が切れない支援を行う交流の場が少ない。

次回までの具体的な改善計画
WHO(世界保健機関）のICFを活用することにより、それぞれの関係性も考慮しながら、利用者のとりまく環境の情報収集を行っていくことにより、個々に合った幅広い地域資源の活用を検討していく。 地域交流会を持てる様、計画を検討し実施していき地域との関係性を継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月　25日（15　：００　～　16　：００）
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	松浦・古田・氏次・小泉・金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	3人	13人			16人

前回の改善計画

今後もニーズの把握や情報の共有に努め必要な地域資源の利用を継続的に行いながら、家族のニーズが先行することが無い様必要に応じてサービスの調整を図りご家族の協力を頂けるよう働きかけていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

本人とご家族の一致したニーズに結びつけることへの困難さはあったが、妥当・適切に提供はできている。
地域内の関係職種との交流・情報共有を行い社会資源の利用を継続的に行えた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	9人	6人	1人		16人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	9人	7人			16人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	10人	6人			16人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	9人	6人	1人		16人

できている点

日々の変化に対し、各職員が状態を把握し　ミーティングや連絡ノートを活用し、情報を共有することでニーズに応じた適切な対応を行っている。利用者・ご家族のニーズに合わせ柔軟なサービスの提供を行っている。

できていない点

地域資源についての把握が出来ていない。本人の住み慣れた地域の資源との関係性が理解できていない。
ニーズに合わせたサービスの検討はしているが、画一的なものになりがちである。

次回までの具体的な改善計画

全職員が地域資源について、把握できる様、内部研修等で理解を深める。
担当職員が利用者の住み慣れた地域での活動や行事に参加できる様、働きかけを行う。
多様なニーズに結びつけられる様、過程や結果を記録することでチーム全体での課題解決に取り組みサービスの個別の多様性を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月　25日（15　：００　～　16　：００）
６．　連携・協働	メンバー	松浦・古田・氏次・小泉・金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	6人	7人	1人	1人	16人

前回の改善計画

人員の調整が可能な限り、これまで関わっていない職員にも会議への参加や地域活動の参加の機会を確保できる体制を作る。
地域包括支援センターとの連携を図り、地域包括ケアシステムの仕組みや役割・取組みを学ぶ研修会の開催を働きかけて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果

今まで参加していなかった担当職員もサービス担当者会議へ参加し他の機関との連携を図ることができた。
地域包括支援センターの方に地域包括ケアシステムの仕組みや構築等、勉強会で学ぶ機会を持つことができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5人	5人	4人	2人	16人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	3人	10人	2人	1人	16人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	5人	5人	5人	1人	16人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	5人	5人	3人	3人	16人

できている点

他のサービス期間との連携はサービス担当者会議や連携シートにより行っている。
地域包括支援センターの職員を講師に招き地域包括システムについての勉強会を行った。
定期的に地域活動や行事に参加している。また、利用者との外出支援を計画的に行っている。

できていない点

地域活動の参加は行っているが、どのような内容であったのか知ることができていない。
利用者の友人等の来所はあるが、地域の子供や住民の来訪はほとんどない現状となっている。

次回までの具体的な改善計画

今後も地域包括センターとの研修の機会や業務協力の働きかけを行っていく。
サービス担当者会議の記録も全ての職員が周知していくことで、連携や協働に関して職員が把握できるよう努めて行き
今後も地域行事の参加は積極的に継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月　25日（15　：００　～　16　：００）
７．　運営	メンバー	松浦・古田・氏次・小泉・金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	7人	7人	1人	1人	16人

前回の改善計画

運営推進会議での意見交換の内容について、全体ミーティングで報告すると共に議事録を書面にて回覧し、職員全員への周知・徹底を図り、会議の参加の機会を増やしていく。
事業所の取組み課題を明確にできる様、SWOT分析により、全職員にて意見交換を行い事業所のあり方を学んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営推進会議に参加できない職員はミーティングでの報告・議事録の内覧を行い内容を把握できた。
SWOT分析により、事業所の「強み」「弱み」「機会」「脅威」について意見交換し、課題を出すことができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	6人	6人	3人	1人	16人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4人	10人	1人	1人	16人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	9人	3人	1人	16人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	3人	10人	2人	1人	16人

できている点

運営推進会議の内容を議事録にて、確認することでどのような内容・意見交換が行われたのか把握できている。

できていない点

運営推進会議への参加が出来ていない職員もおり、議事録を読んだだけでは、内容をしっかりと把握できていない。
利用者・ご家族の苦情を全て把握できていないこともあり、苦情に対する対応ができていないように感じる。
地域の拠点になれる様な活動を行っていない。

次回までの具体的な改善計画

地域の方や利用者・ご家族が参加しやすい取組みを企画し、参加頂けるよう情報を発信していく。
利用者・ご家族からの苦情対応体制の見直しを行う。
SWOT分析に関して、再度確認し意見交換を行う事で新たな課題を探って行く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月2日（　15：30　～16：30　）
８．　質を向上するための取組み	メンバー	植田・岩本・能美・河村・金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5人	10人	1人		16人

前回の改善計画

人員を調整しすこしでも多くの職員を地域連絡会に参加できる様進めていく。
これまで通り、研修の回覧を継続させ外部研修の参加者より、研修内容を全体ミーティング等で報告し意識を高めていく
資格取得は具体的な情報を提供し希望を募っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

人員の調整は行ったが、一部の職員の参加となった。議事録や研修内容の報告を職員全員が回覧することにより、周知できた。キャリアに応じた研修の参加や資格取得への取組み等、意欲の向上がみられた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	13人	3人			16人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5人	10人	1人		16人
③	地域連絡会に参加していますか	3人	5人	3人	5人	16人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	8人	6人	1人	1人	16人

できている点

自己研鑽や外部研修・内部研修への参加ができた。
インシデント・アクシデントに関して報告後、徹底し瞬時ミーティング・カンファレンスにて検討を行い予防に努めた。
リスクマネジメントに対して内部研修を通して取り組んでいる。

できていない点

リスクメネジメントの取組みが少なく記録する習慣が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

キャリア段位制度を活用したOJTを通した人材育成を行い職員のスキルを向上していく。
地域連絡会に関しては、人員調整も行っていくが、議事録を作成し内覧していく事で、内容や仕組みを理解して貰い参加できる様、今後も調整に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成29年10月2日（　15：30　～16：30　）
９．　人権・プライバシー	メンバー	植田・岩本・能美・河村・金坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	10人	6人			16人

前回の改善計画

年間計画の研修や自己研鑽に虐待・接遇の研修を取り入れる事を意識付を行い今後も、自己点検シートを活用し人権尊重や対応（接遇）について、ミーティング時で継続して、話し合っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

人権尊重や接遇について、全職員の意識の向上ができたが、ミーティングでの振り返りを行うことはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11人	5人			16人
②	虐待は行われていない	11人	5人			16人
③	プライバシーが守られている	7人	8人	1人		16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9人	5人	1人		16人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9人	7人			16人

できている点

身体拘束や虐待・プライバシー・個人情報の保護・守秘義務等、意識を持ち業務に努めた。また、外部研修にて理解と知識を深めている。
成年後見人について、運営推進会議にて事例検討を行い意見やアドバイスを頂いた。

できていない点

安全第一を考えプライバシーの配慮に欠ける場面があった。
利用者の前で、職員同士の会話をする場面が多く見受けられた。

次回までの具体的な改善計画

配慮に欠ける言動について、無意識や油断に繋がる事が多いことから、配慮に欠ける場面があった時には、その場の職員間で声かけを行い改善していく事を日常化していく。